



プログラム

①演奏者プロフィール ②プロフィールプログラムノート ③お客様へのメッセージ

第一部

1. 彩の国 JuniorENSEMBLE

ホルスト:セントポール組曲より第1・4楽章

2013年4月より発足した弦楽器アンサンブル勉強会。小学生～高校生を対象とし、埼玉県からアンサンブルの楽しみを発信している。現在メンバー募集中。

2016年度前期指導講師:野口千代光先生、臼木麻弥先生、岡田紗弓先生

1st Vn:大塚ゆきの、羽鳥うらら、中村僚太、小林里桜

2nd Vn:大塚みらい、渋谷帆乃花、藤巻陽南、平飛鳥

演奏サポーター Va:小室明佳里さん

Vc:山崎太陽さん、久保田祐里さん

Cb:岡本文音さん

2. 山中里紗 / Risa Yamanaka

パガニーニ:24のカプリス op.1 よりNo.23

バッハ:無伴奏ヴァイオリンソナタ第3番 ハ短調 よりLargo

①5歳よりピアノ、6歳よりヴァイオリンを始める。第11回洗足学園ジュニア音楽コンクール 奨励賞、第58回鎌倉音楽コンクール第3位、彩の国 String Competition 1st C部門 審査員賞、第8回全日本芸術協会コンクール関東本選第3位、第61回鎌倉学生音楽コンクール 第2位、第9回バーテン音楽コンクール全国大会5位。これまでに恵藤久美子氏、現在、松原勝也、百瀬久美の各氏に師事。

②24のカプリスはニコロ・パガニーニが1800-1810年にかけてジェノヴァで作曲され、その10年後ミラノで出版されました。パガニーニが好んだハーモニクスはこの曲集では用いられず、舞曲や行進曲のリズム、バロック音楽やジプシー音楽の要素が多く見られます。無伴奏ヴァイオリンソナタはヨハン・セバスティアン・バッハが1720年、35歳の頃に作られました。1720年は13年間生活を共にしてきた妻、マリア・バルバラが急逝した年と一致します。そこからバッハが亡き妻へのレクイエムとして書いた、とも言われています。

③私は無伴奏曲を弾かせていただきます。人前で無伴奏を弾くことはとても緊張しますが、自分の出す音に集中し、響きを大切に弾きたいと思います。

3. 武元佳穂 / Kaho Takemoto

イザイ:無伴奏バイオリンソナタ 作品27 第1楽章、第2楽章

①3才よりバイオリンを始める。現在、水野佐知香、漆原朝子、野口千代光各氏に師事。第69回全日本学生音楽コンクール東京大会奨励賞。第15回大阪国際音楽コンクール第3位。第25回日本クラシック音楽コンクール第5位。第17回洗足学園ジュニア音楽コンクール 準グランプリ。第3回彩の国 string competition sectionD 最優秀賞。第32回かながわ音楽コンクール中学生部門最優秀賞及び準大賞 並びに神奈川新聞社社長賞受賞。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校1年。

②ウジェーヌ・イザイ(1858~1931)はベルギーの優れたヴァイオリニストで作曲家。バッハに啓蒙され1924年に6曲の無伴奏ソナタを作曲し、6人のヴァイオリニストに献呈した。今回演奏する第1番は、ハンガリー出身の名ヴァイオリニストヨーゼフ・シゲティ(1892~1973)に献呈された。教会ソナタ風4楽章構成や、第2楽章にフガートを置くなどバッハの影響が見られる曲。

③本日はご来場いただきありがとうございます。まだ練習し始めたところですが精一杯演奏したいと思います！

4. 山口絢 / Aya Yamaguchi ※15.をご参照下さい

イザイ:無伴奏ヴァイオリンソナタ作品27よりFugato

5. 中村僚太 / Ryota Nakamura ※13.をご参照下さい

ローデ:24のカプリスより第4番 ホ短調



6. 藤巻陽南 / Hinami Fujimaki

ローデ:24のカプリスより第4番 ホ短調

①4歳からヴァイオリンを小籠郁子氏に、現在は田中晶子氏、植村理葉氏にも師事。第31回かながわ音楽コンクール 神奈川県新聞社賞、彩の国 string competition 2nd 第1位、第69回学生音楽コンクール 東京大会入選。

②ジャック・ピエール・ジョセフ・ローデは、1774年にフランスのボルドーに生まれました。12歳のときにボルドーでヴァイオリン協奏曲を演奏して成功を収め、14歳のときに当時パリで活躍していたジョバンニ・バッティスタ・ヴィオッティの弟子になりました。1800年には皇帝ナポレオンの宮廷ソロ・ヴァイオリニストとなってヨーロッパ各地で演奏活動を行い、1804年からはロシアの宮廷ソロ・ヴァイオリニストを務め、華々しく活躍しました。1814年、40歳になったローデはベルリンに住むようになり、1819年まで5年かけてこの24のカプリスを書き上げました。この曲集の特徴は、後期古典派のヴィルトゥオーゾのための作品だということです。技巧的にはヴィオッティやクロイツェルを更に発展させたものですが、音楽的にはベートーベンの影響が強く感じられます。豊かでロマンティックな作品です。

③たった2ページの曲ですが、表現しなければならないことがたくさんあり、難しかったです。前半のシチリアーノでは、8分の6の踊りの雰囲気を出すこと、重音を美しく響かせることが大変でした。今日はきれいな曲だなあと感じていただけるように演奏したいと思います。どうぞお聞きください。

7. 大塚みらい / Mirai Otsuka ※16.をご参照下さい

ヴィータウタス・バルカウスカス:無伴奏ヴァイオリン パルティータ Op.12

～ 休憩 ～

第二部 (13:35頃～)

8. 金山心優 / Miyu Kanayama

伴奏:米山多佳子先生

ビバルディ:協奏曲イ短調第一楽章

①3歳よりヴァイオリンを始める。これまで松井直樹先生、小籠郁子先生に師事。彩の国 String Competition 3rd キッズ部門 銀賞。現在都内区立小学校1年生。

②アントニオ・ヴィヴァルディが作曲した全12曲からなる協奏曲集の中で第六番になる、ヴァイオリン協奏曲です。

③ヴァイオリンを習い始める前から、憧れの曲でした。華やかさと切なさを表現できるよう、頑張って演奏します。

9. 大久保瑠名 / Luna Okubo

伴奏:小森谷裕子先生

ヴェニアフスキ:ヴァイオリン協奏曲第2番第2、3楽章

①2006年生まれ 3歳よりヴァイオリンを益田みどり氏に師事、現在、寺沢希美氏に師事。第4回及び5回国際ジュニア音楽コンクール第1位、第14回洗足学園ジュニア音楽コンクール最優秀賞、第1回及び2回デザインK音楽コンクール第1位、第1回桐朋学園全国ジュニア音楽コンクール第1位、第28回及び29回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール第1位、第69回全日本学生音楽コンクール東京大会小学生の部第1位、及び同コンクール全国大会第3位、第7回コンコルソ MusicArte グランプレミオスペチャーレ(特別優秀大賞)、第3回、第5回及び第7回イタリア世界遺産・音楽芸術国際フェスティバルに出演。日本女子大学附属豊明小学校5年在学中。

②ポーランドの名ヴァイオリニストでもある作曲家、ヴェニアフスキは生涯に2つのヴァイオリン協奏曲を作曲しています。この第2番は1862年に作曲者自身の独奏で初演され、ロマン派音楽の時代で最高のヴァイオリン協奏曲の一つと言われています。第2楽章はロマンスと題されている通り、ゆっくりとした美しい旋律で、とてもロマンチックです。第3楽章は情熱的なカデンツァから始まり、ジプシー風のメロディをはさみながら、技巧的なパッセージが繰り返され、とても華やかな終楽章となっています。

③今日は、このような素敵なホールでの演奏会に出演させて頂き、ありがとうございます。ヴェニアフスキは大好きな作曲家ですが、昨年初めてこの協奏曲の1楽章を弾きました。どうしても弾きたかった2、3楽章を今回両方弾かせて頂けて本当に嬉しいです。楽しんで弾けるように頑張ります

10. 花田涼香 / Suzuka Hanada

ラロ:スペイン交響曲D-moll op.21 第1楽章

伴奏:阿久津絵美先生

①3才からピアノを、5才からバイオリンを始める。第9回ベートン音楽コンクール2位、第10回セシリア国際音楽コンクール4位、第16回大阪国際音楽コンクール入選、彩の国 String Competition 3rd 奨励賞。現在、桐朋のこどものための音楽教室に在籍。

②スペイン系フランス人のラロが作曲したこの曲はラテン的な気分にあふれ、とても親しみやすい曲です。第1楽章はソナタ形式になっていてインパクトのある出だしで始まります。スペインのバイオリニストのサラサーテに献呈され1875年に初演されたそうです。この時期のフランスは異国趣味に関心が高まっていて、その状況の中でサラサーテとラロの親交によりスペイン情緒あふれたこの曲が作られたそうです。今日は心を込めて弾きます。

③今日はお忙しい中聴きにきてくださりありがとうございました。ミュージックフェスティバルをぜひお楽しみください。



11. 渋谷綾花 / Shibuya Ayaka

伴奏:阿久津絵美先生

パートン:ソナチネ第1,3楽章

- ①10歳からフルートを始める。沢野 茜、高久 進各氏に師事。現在、武蔵野音楽大学附属高等学校2年生。
- ②アメリカ合衆国で生まれたエルディンパートンは、ニューヨークで作曲家・ピアニストとして活躍してきました。この「ソナチネ」は1984年にニューヨークのフルートクラブコンテストで賞を受賞しました。第1楽章はピアノパートとの白熱したやりとりがあります。第3楽章はスペインの舞踊「ファンタンゴ」のリズムが用いられています。
- ③昨年に続き今回も素晴らしい演奏会に出ることができて嬉しいです。現代曲は初めてなのですが曲の感じをしっかりと伝えられたいと思います。

12. 石原愛里 / Ishihara Airi

伴奏:小平泰子先生

P. I. Tchaikovsky: Pezzo capriccioso, Op.62

- ①7歳よりピアノ、8歳よりチェロを始める。チェロを有泉芳史、ピアノを長谷川裕美、藤巻都、ソルフェージュを藤巻都の各氏に師事。2011年ドイツバーデン＝ヴュルテンベルグ州スクール・オーケストラ・デイズ音楽祭に参加。第16回大阪国際音楽コンクール弦楽器 Age-H部門入選。駿台甲府高等学校普通科2年生。
- ②この曲はチャイコフスキーが死に近い親友の看病をしながらドイツで作曲した曲です。カプリティオーソは「気まぐれな」と訳されますが、この曲は一般的な「気まぐれな」という軽い意味からはほど遠く、病と闘う友人を目の前にしながら絶望の感情を描いた小品です。しかし、絶望的な部分ばかりでなく、甘美な旋律、おどけた旋律も現れ、たいへん変化に富んだ曲になっています。
- ③このような演奏の機会に恵まれたいへん嬉しく思います。私は変化に満ち表現の可能性のある曲が大好きです。この曲では、哀愁に満ちた美しいメロディと重々しい感情の部分、そして動きの速いパッセージが出てきます。初めて聞いたときからいつかホールで弾いてみたい曲でした。今日はその夢が叶う舞台です。心を込めて弾きたいと思います。

～ 休憩 (14:20～14:30頃) ～

13. 中村僚太 / Ryota Nakamyra

伴奏:林絵里先生

ヴァーダン:ヴァイオリン協奏曲第4番 ニ短調 Op.31より 第2、第4楽章

- ①3歳よりヴァイオリンを始める。野口千代光先生に師事。第3回国際ジュニア音楽コンクール第1位。第22回日本クラシック音楽コンクール最高位。2014年ハマのJACK金の卵オーディションに合格し、N響メンバー中心の「ハマのJACKオーケストラ」とソリストして共演。第27回、第30回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール第1位。第17回洗足学園ジュニア音楽コンクール優秀賞。第69回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。江戸川新進音楽家コンクール第1位。学習院初等科5年生。
- ②ヴァーダンは19世紀中頃を代表するベルギーの作曲家で、名ヴァイオリニストでした。彼の弟子であったイザイに、『僕が死んだら、葬式にガルネリを持ってくるように』という遺言を残した逸話は有名です。ヴァーダンの技法は、パガニーニやヴィエニャスキに通ずる華麗な名人芸を誇る一方で、楽想の上ではドイツ的な保守的な枠組みを持ち、ブラームスのような重厚な響きを感じさせる、ユニークな作曲家でした。この協奏曲4番は、チャイコフスキーに賞賛され、技巧と情感が相乗効果のように魅力を引き出す名曲です。
- ③今回、ローデのシチリアーノの部分の重音の音程やテンポ感がなかなかつかめずに苦労しました。またヴァーダンでは、2楽章の音楽の美しさ、4楽章の毅然とした華やかさを表現する難しさを毎日感じていて、まだまだ模索しながらの本番ですが、いつも僕を見守って下さる千代光先生や応援してくれる友人達に感謝しながら、大好きなこのホールで精一杯演奏したいと思います。

14. 渋谷帆乃花 / Honoka Shibuya

伴奏:米山多佳子先生

モーツァルト:コンチェルト4番 1楽章

- ①7歳からヴァイオリンを始める。現在、小籠郁子先生に師事。第2回彩の国 string competition B部門2位。彩の国 Junior ENSEMBLE メンバー。
- ②モーツァルトはピアノ協奏曲とは違ってヴァイオリン協奏曲は19歳の時に短期間に集中して5曲書いてます。第4番は、第1楽章冒頭の主題のリズムと音の動きに軍隊ラップのような雰囲気があるから「軍隊」というあだ名で呼ばれてます。調性は、ニ長調で、全体は輝くような明るさと変化に富んでいます。
- ③ヴァイオリンを始めて、いつか弾いてみたい曲の1つだったモーツァルトの4番。難しかったけれど一生懸命練習しました。楽しんで弾けるように頑張りたいと思います。



15. 大塚みらい / Mirai Otsuka

伴奏:阿久津絵美先生

バッハ:無伴奏ヴァイオリン パルティータ第3番 よりサラバンド・ドゥブル

パガニーニ:24のカプリス op.1よりNo.19、シュポア:バルカローレ op.135-1

①2001年生まれ。現在、水野佐知香氏に師事。第31回かながわ音楽コンクール中学生部門最優秀賞及び全部門を通して準大賞、神奈川新聞社賞受賞。第69回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。彩の国 String Competition 3rd中学生部門最優秀賞及び全部門を通して Best Qualifier 賞受賞。仏・パブロ カザルス国際音楽アカデミー、伊・ピエディルーコ国際音楽祭にてコンサート出演。東日本大震災復興プロジェクト「千の音色でつなぐ絆コンサート」ソリスト出演。ハマの JACK 金の卵オーディション本選においてN響メンバー五重奏とソリスト共演。東洋英和女学院高等部1年生。

②バルカローレ op.135-1はドイツの作曲家であるシュポアの作品です。自身もヴァイオリニストであり、ヴァイオリンの顎あてを考案しています。また、シュポアはベートーヴェンが耳が聞こえない事を一番最初に指摘したと言われている人物です。「バルカローレ」とはイタリア語で「舟歌」、またはそうしたスタイルの楽曲という意味です。ゴンドラの船頭がバルカローレのリズムに乗って調子良く漕ぐ姿を想像して演奏したいと思います。

③今回は古典から現代曲まで作風の異なる楽曲を数曲演奏させていただきます。それぞれの楽曲の個性が伝わるよう精一杯弾きますのでどうぞお楽しみ下さい。

16. 山口絢 / Aya Yamaguchi

伴奏:林絵里先生

ヴィニアフスキー:ヴァイオリン協奏曲第1番嬰へ短調作品14より第1楽章

①2歳半よりヴァイオリンを始める。第27回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール第2位、第24回日本クラシック音楽コンクール第5位、第3回Kアンリミテッド音楽コンクール優秀賞、第29回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール第1位、第69回全日本学生音楽コンクール東京大会入選、第4回デザインK音楽コンクール第3位、第3回彩の国 String Competition 優秀賞。長野国際音楽祭2015、かさま国際音楽アカデミー2016に参加。これまでに山口美緒、中島郁子、橋本洋の各氏に師事。現在、澤和樹、山崎貴子の両氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校1年次在学中。

②ポーランドの作曲家ヴィニアフスキーは演奏家としても驚異的な技巧と華麗な演奏で名声を得ていた。協奏曲第1番は、18歳の時に作曲された。第1主題の付点リズムは高音域での10度の重音という大変技巧的で印象深い。第2主題も音域は広く、それに加え情感の豊かさが特徴的である。ヴァイオリン独奏部の驚異的な超絶技巧は数ある協奏曲の中でも特に難易度が高いことで知られている。

③以前、あまりにも超絶技巧続きの楽譜を見て躊躇した覚えがありますが、今回は技術の向こう側にあるヴィニアフスキーの想いを可能な限り表現したいと思います。

17. 大塚ゆきの / Yukino Otsuka

伴奏:阿久津絵美先生

パガニーニ:24のカプリス op.1よりNo.17

プロコフィエフ:ヴァイオリンソナタ第2番より第1・2楽章

①1999年生まれ。原田幸一郎、水野佐知香、神谷美千子の各氏に師事。仏・パブロ カザルス国際音楽アカデミー2013コンサート出演。受講費免除にて伊・ピエディルーコ国際音楽祭2014マスタークラス受講、同コンクール第1位受賞。第8回セシリア国際音楽コンクール第1位及び審査員長賞、第16回洗足学園ジュニア音楽コンクールグランプリ受賞。第24回日本クラシック音楽コンクール全国大会第3位。第69回全日本学生音楽コンクール東京大会奨励賞、全国大会入選。東日本大震災復興プロジェクト「千の音色でつなぐ絆コンサート」ソリスト出演。2015年桐朋学園大学音楽学部ソリストディプロマコース並びに東洋並びに英和女学院高等部入学、現在2年生。

②ロシアの作曲家セルゲイ・プロコフィエフのヴァイオリンソナタ第2番ニ長調作品94bisは、1942年から1943年にかけて作曲されたフルートソナタニ長調作品94を1944年に改作した作品です。未完成であったが先行して着手していたヴァイオリンソナタ第1番が存在したため、ヴァイオリンソナタとしては「第2番」とされました。なお、ヴァイオリンソナタ第2番としては、ヨーゼフ・シゲティに献呈されています。

③作曲家の思いをみなさんにお届け出来るよう、丁寧に演奏したいと思います。至らぬ演奏ですがお聞き頂けると嬉しいです。


18. 野本唯華 / Yuka Nomoto

ラヴェル:ソナチネ第3楽章

①4歳よりピアノを始める。第4回国際ジュニア音楽コンクールピアノB部門6位入賞。第24回全日本ジュニアクラシック音楽コンクールピアノ小学生部門審査員賞受賞。第7回国際ジュニア音楽コンクールピアノD部門1位を受賞し、昨年同コンクールにて受賞者コンサートに出演。現在 齋藤順子先生に師事。中学一年生。

②ラヴェルは近代の作曲家で、この曲はコンクールに出すために作曲したものです。ソナチネは第一楽章から第三楽章までありますが、どれも幻想的な世界が広がる曲です。彼の音楽のユーモアさ優雅さといった作品になっています。特に第三楽章はリズムカルかつ勢よく押し上げるようなエネルギーを持つ流動的な楽曲です。

③本日はご来場頂き誠にありがとうございます。昨年に引き続き出演させて頂けることに深く感謝致します。聴いてくださるお客様に心をこめて演奏をお届けしたいと思います。



第三部(15:45頃～)

～ スペシャル・ゲストによる演奏 ～

19. ピアニスト 齋藤順子

演奏曲 ショパン:バラード第1番ト短調 Op.23

ショパン:ノクターン第2番変ホ長調 Op.9-2

リスト:ラ・カンパネッラ

ラヴェル:「鏡」より 悲しい鳥、道化師の朝の歌 I

プログラムノート

《ショパン:バラード1番》

ショパンのバラード1番は、シューマンがショパンの曲の中でもこよなく愛したと言われ、ショパンのバラード4曲中、極めて人気の高い作品です。また、フィギュアスケートの羽生結弦選手がショートプログラムで使用した曲としても、耳慣れているのではないのでしょうか。曲は、7小節半の序奏ののち、3拍子の舞曲風リズムと分散和音による第1主題、幅広い音域に渡って朗々と歌われる第2主題を経て展開部に入り、再現部は第2主題から回帰が始まります。第1主題を橋渡し程度に現れ、短い動機が切迫するように繰り返されるコーダののち、ピアノの鍵盤の幅いっぱいを使った壮大なパッセージワークで幕を閉じます。

《リスト:パガニーニ大練習曲第3番 ラ・カンパネッラ》

パガニーニのヴァイオリン協奏曲第2番をリストがピアノ用に編曲した、鐘の音を模したテーマを何度も繰り返す、歴史に残るであろう名曲。リストは初恋に破れ沈んでいた20歳の時にパガニーニの演奏を聴いて「僕はピアノのパガニーニになってやる」と奮起し超絶技巧を磨いたという逸話が残っています。しかし、パガニーニを超えようとした結果、あまりにも超越しすぎてしまったため、あまり面影が残っていません。

《ラヴェル:悲しい鳥》

「夏の、とりわけ暑い日に、暑さで眩み迷子になった鳥たちの姿。真夏の光も届かない、ほの暗い森の中で動けなくなった鳥たちは、ひっそりと息絶えます」・・とラヴェルは語っています。数羽で群れているわけではなく、1羽1羽みな孤立している、気高くも悲しい情景です。ラヴェルは都会に住む同時代人が抱いていた孤独感を鳥に見立てて描いたのでしょう。

《ラヴェル:道化師の朝の歌》

この曲集のなかでもっとも有名な曲で「のだめカンタービレ実写版」でのだめちゃんのレパートリーとして取り上げられた曲です。ラヴェルの母国スペインの雰囲気や漂う異国情緒あふれる曲。道化師の笑いと涙、セギディーリャというスペインの独特なリズムやガット弦をかき鳴らす同音連打、スライド奏法による流れうようなアルペジオやグリッサンドなどのギターを模倣した書法が、ラヴェルのフランス的なエスプリとあいまって、非常に洗練された曲になっています。朝に、恋人宅の窓辺でギターを弾きながら愛を語る、道化師の様子を描写した曲ともいわれます。

お客様へのメッセージ

ゲスト出演のありがたいお話を頂き、若い音楽家たちと同じ舞台に立てる喜びを噛みしめながら準備をしておりました。特に今回、ピアノ以外の楽器を勉強なさっている方が多いので、皆様になじみがある曲を試行錯誤して選曲しました。ショパンはフィギュアスケートのプログラム。リストはヴァイオリン協奏曲からの編曲。ラヴェルは管弦楽曲でも親しまれています。それぞれ、全くキャラクターの違う曲を演奏させていただきますので、それらの違いも楽しんでお聴きいただけましたら嬉しいです。

演奏者プロフィール

東京音楽大学ピアノ演奏家コースを首席卒業後、ベルギー王立ブリュッセル音楽院に留学。ピアノ科一等賞、室内楽科一等賞を得る。同音楽院大学院課程修了。その後、パリ市立音楽院で研鑽を重ねる。マリア・カナルス国際コンクール(スペイン)第3位。マリア・カラス国際コンクール(ギリシャ)特別賞。ハエン国際コンクール(スペイン)第3位。ピエール・バルビゼ国際コンクール(フランス)第2位。これまでに、ニューフィルハーモニー千葉、マルセイユ歌劇場管弦楽団、クラコフ室内管弦楽団と共演。津田ホール、浜離宮朝日ホール、イノホール、彩の国さいたま芸術劇場などにてリサイタルを開催。NHK/FM「土曜リサイタル」に出演。故 井口愛子、故 中島和彦、菊地麗子、長島圭太、故 ニコル・アンリオ・シュヴァイツァー、ブルーノ・リグットに師事。Y.A.ミュージックアカデミー講師。全日本ピアノ指導者協会正会員。

